

新着任部隊長を表敬 相談 役を委嘱

三好文雄安房支部長は、7月11日(月)、本年3月23日付で退官された空自第44警戒隊長兼、ねて家岡山分屯基地司令 本橋彰仁郎2等空佐に代わり着任された坂慎一2等空佐を表敬訪問し、県隊友会相談役就任及び県隊友会の活動について協力をお願いした。本橋2等空佐には、退官後、引き続き県隊友会に入会頂き深謝。

また、河野県会長、満園沼南支部長、安達副会長、河西理事役及び小渡監事役は、7月26日(火)、7月1日付で具地方総監に栄転された池太郎海将に代わり海幕防衛部長から海自教育航空集団司令官に着任された渡邊剛次郎海将を表敬訪問し、県隊友会相談役就任をお願いした。



渡邊剛次郎 海将 坂 慎一 2等空佐

予備自衛官講話

小渡朝義県隊友会監事役は、7月19日、松戸駐屯地において招集訓練に参加した予備自衛官50名に対して、「あなたが支えてくれるから(傾聴ボランティア活動)」を題材に講話した。最初に千葉県隊友会の紹介と、昨年、県隊友会が常総市で行った災害ボランティア活動について紹介した後、自身の自衛隊での経験などを踏まえ、長年にわたり、継続している「傾聴ボランティア活動」について、具体的な事例を交えて話した。同様に、7月26日(火)、習志野駐屯地において金井泉寿会員(市川支部)は、44名の予備自衛官に「日本創生美しき日本を取り戻す」と題し、講話を行った。



金井泉寿会員講話(習志野駐屯地予備自衛官講話)

手賀沼トライアスロンを支援

沼南支部は、第1回大会から支援しており、今回11回大会も満園支部長、河西理事役(大会実行委員)、永岡・金子理事役、小渡監事役及び会員18名のボランティアが大会支援に当たった。早朝、4時半に我孫子市役所駐車場に集合し、選手車両の専用駐車場へ誘導を皮切りにバイクコースの警戒に当たった。



支援参加会員



浜田ほづみ県議(大会会長)

スイムのスタート風景

大会は、浜田ほづみ(県議) 大会会長の挨拶で始まり森田県知事(代理副知事)、秋山柏市長、星野我孫子市長及び根田衆議院議員の挨拶で盛り上がった。今回は、個人選手が434名、リレー(3人1組)49組147名が参加、その中にはこの9月1日で行われたパラリンピックに参加する桑田香子選手もいた。

事務局からの連絡事項

◆自衛隊殉職隊員千葉県追悼式会場(下志津駐屯地) 整備の協力依頼
自衛隊殉職隊員千葉県追悼式は、10月30日(日)に下志津駐屯地内「鎮の庭」で斎行されます。これに先立ち、追悼式場の整備を10月11日(火)、9時から16時(荒天の予備日)10月12日)に実施します。支部長を通じて参加申込みをされた方以外で参加頂ける方は、9月末までに県本部の大根理事役(電話090-3047-6820)又は県事務局に氏名、年齢、住所、電話番号を連絡。当日、事前に提出した名簿で確認を受け入門。服装は作業服装(手袋、タオルは隊友会で準備)、作業資材は駐屯地が準備(手持ち資材は持参可)、移動は私有車又は公共交通機関を利用、交通費支給、昼食は駐屯地内喫食、作業は、庭木剪定など専門的技術を要するものから除草まで幅広くあります。どなたでも参加可能です。

◆隊友会平成28年度中央防衛セミナー(第43回)
◎日時10月6日(木) 13時15分~16時45分(開場12時30分)
◎場所1新宿区西新宿損害保険ジャパン日本興亜本社ビル2階大講堂(JR線等新宿駅西口徒歩10分)
◎講師・演題1慶応義塾大学名誉教授 小此木政夫氏「システム変動の中の日韓・日朝関係」、産経新聞社社会部編集委員 加藤達也氏「韓国のガラパゴス法政治主義」
◎入場無料、予約はありません。自由に行って聴講して下さい。

平成28年度前期支部長等会議終了

7月20日(水)、14時から千葉市民会館において会長以下、支部長及び県理事役・監事役計47名が参加。28年度隊友会定時総会結果を伝達するとともに家族支援施策の説明及び熊本地震募金の使途について審議した。

【隊友会定時総会結果の伝達】

◆隊友会定款の一部変更 隊友会の事業を海外でも実施できるように定款を変更。これにより、海外で行われる戦没者遺骨帰還事業に正会員の参加が可能となった。今後、その参加要領について、隊友会本部で検討。

◆終身会員廃止に伴う会員規則の一部修正 現在、会費納入区分で終身会員と年会員があるが、平成29年度(平成29年4月1日)以降入会の正会員から終身会員は廃止。ただし現在、既に終身会員である会員は、そのまま終身会員の身分は保証。平成29年度以降、希望する者は、希望する時期に10年、15年、20年のいずれかの期間を選択し、その期間の会費を一括前納することができる。その場合、前納期間にかかわらず前納期間会費総額の10%が免除される。但し、退会時、前納した会費は返還しない。

◆表彰 定時総会の式典において、多くの自衛隊退職隊員を雇用して職域支部を構成し、それを30年間に亘り社を挙げて応援している県内企業である大日精工工業株式会社成田製造所に隊友会長から感謝状が贈呈された。また阿部治夫会員(四街道市議の傍ら隊友会活動にも貢献)、今泉昭雄会員(下志津駐屯地殉職隊員追悼式場等の樹木剪定をボランティアとして支部活動を活発に実施)、若梅友男山武東金支部長(同)、林州昭前木更津支部長(同)、櫻井

今回、自衛隊からの要望に応じ、新たに「家族支援の実施」について説明

武之千葉稲毛支部長(県隊友会ホームページを長年に亘って作成・維持するとともに支部長として支部活動を活発に実施)の6名が表彰された。

【家族支援について】

◆検討の経緯 6月に陸自東部方面総監から県自衛隊父兄会と県隊友会に対し支援要領の説明が行われ、県隊友会でも検討することにした。

◆家族支援の意義 災害時、任務により駐屯地(自宅)を離れて活動する隊員の家族に関する不安、すなわち被災家族の安否や被災家族の介護、子供の世話などは、隊員・家族自らの努力(自助)や国・自治体・陸自等による支援(公助)が原則であるが、公共性の観点から隊員の家族を特別扱いすることが困難な実情がある(公助の限界)。そこで地域や身近な人同士の助け合い(共助)の考え方が生まれ、家族間の互助態勢や自衛隊の活動に理解のある自衛隊父兄会・隊友会の部外団体からの支援が必要となる。これにより、隊員は後顧の憂いなく任務にまい進できる。

◆陸自施策の概要と隊友会・父兄会との連絡・調整 災害発生時、隊員自らによる家族への連絡が実施できず、安否確認ができない場合、それを近傍(県内)居住家族に対しては部隊で実施、遠隔地居住家族に対しては、他方面隊に依頼する。ここで部隊の能力を超える部分を父兄会・隊友会に依頼。駐屯地業務隊は、各部隊等の支援要望の取りまとめ、隊友会・父兄会担当者との連絡・調整を行い、地本は、業務隊と隊友会・父兄会との連絡・調整、方面総監部は、方面区外・内における調整・統制を実施。

◆施策推進の考え方 安否確認を優先、段階的に支援を拡大、支援内容は、安否確認、生活支援(買出

し、介護、子供の面倒見)、激励、相談、その他に区分。また、駐屯地近傍に居住する隊員家族を優先、段階的に対象範囲を拡大。

◆施策推進の段階区分

◎第1段階(部内認識の統一) 業務隊は駐屯地所本部に本施策の実施要領等を説明

◎第2段階(業務隊、地本、父兄会・隊友会との認識共有) 業務隊は地本と協力し、関係部外機関等と施策全般の認識を共有

◎第3段階(各業務隊、地本の区割割当) 各業務隊・地本は区割割当を設定。各部隊は、隊員家族の支援要望を調査、各業務隊に提出、業務隊は、それを取り纏め、関係部外団体等は、地区会長等が支援可能な会員を募り、取り纏め。

◎第4段階(会員割当) 業務隊と父兄会・隊友会は、支援要望と支援可能事項をすり合わせ。支援を希望する隊員に対して支援可能な会員を割当。

◎第5段階(顔合わせ) 会員と支援要望隊員との顔合わせ。

◆その他

◎当面、陸自隊員のみ実施。海空隊員は平成31年以降。

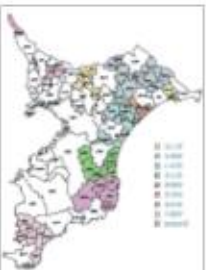
◎隊員及び会員の個人情報保護には万全を期す。

◆「家族支援」に対する県隊友会の方針 県隊友会は、自衛隊支援のため、部隊からの要望に応え、積極的に支援する。

隊友千葉だより

平成28年9月号 (No. 45) 千葉県隊友会事務局

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000~1500 山田理事役



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibatayuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibatayuu.com/

支部長(同)、林州昭前木更津支部長(同)、櫻井

支部長(同)、林州昭前木更津支部長(同)、櫻井

支部長(同)、林州昭前木更津支部長(同)、櫻井

各地で支部総会を開催

◆館山支部(川村 巖支部長)
5月14日(土)、市内館山カントリークラブにおいて正会員31名が参加。27年支部事業報告等について承認。引き続き、支部会員、地元OB会(館空会)会員及び海自第21航空群司令部以下隊員20名を含む80名が参加して、防衛講話を実施。柳アス力代表取締役丸淳一氏を講師に招き、演題「人の心は美しいか・歴史の真実」で講師の著書「尖閣諸島問題と集団的自衛権を考える・誰がこの国を守るのか」に基づく講話を1時間にわたり聴いた。懇親会も防衛講話参加者で実施、親睦を深めた。

◆夷隅支部(高橋清三支部長)
6月11日(土)、支部総会を大原台自治会館小会議室にて午前11時から12時まで7名が参加して開催。防災ボランティア登録等について話し合った。昼食・懇談後、5名をもって「沖風」観音像の清掃と周辺の草刈り・樹木伐採を行った。少々暑い中、心地いい汗を流した。観音像台地からの海の眺めは、大きくなった樹木を伐採した事で大変素晴らしいものとなった。

◆千葉美浜支部(首藤敏明支部長)
5月22日(日)、稲毛海岸駅前のウェルシオ・ネ若潮において正会員13名、特別会員4名の17名が参加。27年度事業・会計報告等を承認。引続く懇親会では、特別会員の白井正一県議、米持克彦市議、松坂吉則市議、田沼隆志前衆議院議員を来賓に迎え祝辞を頂いた後、参加者全員の近況報告、懇談で大いに盛り上がった。

◆山武東金支部(若梅友男支部長)
6月26日(日)、東金市中央公民館で正会員25名が参加して27事業報告等を承認した後、引続き同所においてNPO法人孫子経営塾塾長前原清隆氏を講師に迎え、講演会を行い特別会員、自衛隊協力会会員、防衛関係団体会員、現役自衛官など47名が聴講した。氏は、「歴史戦への対応で日本を取り戻そう」と題し、ボツダム宣言の受託と降伏文書への調印、占領下の日本で何が行われたか、敗因の一端と歴史観などについて詳細な事実を紹介、未だ戦後は終わらず新たな歴史戦に立ち向かえ、日本を取り戻そうと訴えた。懇親会は、市内宴会場において前原塾長、阿井県議、森衆議院議員秘書、石井参議院議員秘書など11名の来賓に三宅空挺団第8中隊長、安田千葉地本成田事務所長の現役を含む36名が参加し、懇親を深めた。

◆千葉緑支部(林 征二郎支部長)
5月21日(土)、区内において隣接支部の服部千葉若葉支部幹事を含む8名が参加。27活動報告等を承認した。本年度は、区内の憲法顕彰施設及び当該施設に係る行事等の調査・把握、緑支部存在の広報、特別会員の勧誘及び年2回の懇親会の開催に積極的に取り組みすることとした。

◆安房支部(三好文雄支部長)
6月18日(土)、鴨川グランドホテルにおいて亀田県議、長谷川鴨川市長、坂嶋一峯山分屯基地司令を来賓に迎え、正会員16名が参加して開催。総会・懇親会は、峯岡航友会30周年記念祝賀会との合同実施で関係者を含め、135名での開催となった。

◆印西市支部(津村隆尋支部長)
6月25日(土)、印西市文化ホールにおいて特別会員4名(白須賀衆議院議員秘書竹脇亮太氏、滝田敏幸県議、小川義人市議、中村俊介市議)、来賓2名(下総教育航空群司令 寺尾一海佐、空挺団1普通科大隊2中隊長橋本3陸佐)、正会員14名が参加。国歌斉唱に続き、隊友会歌を斉唱し、意気盛んなどころを示した。意見交換会では、寺尾司令と橋本中隊長に挨拶を頂いた後、参加者全員が近況報告や内

内外情勢などに関する持論を発表し、盛り上がった。最後は寺尾司令のハーモニカ演奏で終了した。

◆東葛地区支部連合会(豊嶋尉史連合会長)
6月12日(日)、松戸駐屯地内で正会員48名が参加。27事業報告等を承認後、需品学校副校長重信勝利1陸佐を講師に招き、「最近の国内外情勢とこれからの自衛隊」と題する講話を聴講。懇親会は、講師に加え需品学校校長兼て松戸駐屯地司令和田良作陸将補、第2高射科群長榎原新吾1陸佐、関東補給処松戸支処嶋守一志1陸佐、本郷谷松戸市長、清水鎌ヶ谷市長、渡辺博道・齋藤健・白須賀貴樹各衆議院議員、櫻田義孝衆議院議員代理、小沢松戸市議、上橋柏市議、甲斐我孫子市議などを来賓に迎えて実施。

◆沼南支部(満園哈爾男支部長)
6月19日(日)、柏市内「海鷹荘」において正会員26名が参加。27活動報告等を承認した後、千葉県議会議員の浜田穂積氏を講師に迎え、講演会を行った。浜田議員は、安政6年旧沼南町の野野谷生まれ「沼南の偉人山崎弁栄(べんねい)上人」についてお話しされた。上人は、世間一般では、あまり有名ではないが、立派な本も多数出ている偉人である。また、書画にも才能を発揮し、仏画、米粒名号など多くの作品を残した。浜田議員には、ご本人所蔵でこれまで門外不出であった上人作の仏画などを会員に披露して頂いた。引続き、昨年、隊友会から柏市議会議員に当選した阿比留義顕議員から「柏市政について」と題し、ご本人の議会質問などの活動報告があった。

◆市川支部(永井博支部長)
5月29日(日)、昨年同様、支部長居住のマンションにおいて、支部会員16名が参加。27事業報告等算

を承認。その後、山口会員による「北朝鮮情勢」のミニ講演を行った。総会後の懇親会には随浦衆議院議員、猪口参議院議員代理、平賀市川市危機管理課主幹、時久千葉地本長、早川千葉地本市川集案内所長を来賓に迎え、3時間たっぷりと親交を深めた。

◆長生支部(森本澄男支部長)
8月6日(土)、茂原駅横の居酒屋において5名が参加して、久々に支部懇親会を実施。今回、参加人数は少なめだったが、今後も支部会員に声を掛け、徐々に親睦の輪を広げて行きたい。今回の懇親会は、新年会を予定。

◆市原支部(秋重親雄支部長)
7月24日(日)、11時から、あねがさきロイヤルホテルにて正会員13名が参加。懇親会は、伊豆倉雄太県議、岡泉市原市議及び松野博一文部科学大臣代理山崎房久氏を来賓に迎え実施。

◆秋重親雄氏講演(山武東金支部)
前原清隆氏講演(山武東金支部)

◆千葉支部総会
久々に懇親会を開催(上:千葉緑支部、下:長生支部)



久々に懇親会を開催(上:千葉緑支部、下:長生支部)



白須賀貴樹衆議院議員も会員と膝を交え懇談(沼南支部)

平成28年7・8月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

入会深謝・隊友会の発展にご協力を

- 【沼南】 上村 英志(海) 浅野 洋二(海)
- 【市川】 岡 浩(海)
- 【四街道】 渡邊 一浩(内局) 内嶋 修(海)
- 【八千代】 茂谷 慎一(陸)
- 【船橋】 川端 康之(陸)
- 【松戸】 藤原 孝仁(陸)
- 【山武東金】 佐瀬 雄三(陸) 飯森 一之(陸)
- 【館山】 土屋 公規(海) 飯森 一之(海)
- 【野田】 岡田 洗樹(空)

有害鳥獣駆除への隊友会員の参加について

【狩猟免許取得希望者の募集】

昨今、日本各地で増加した有害鳥獣による農業、人的被害が頻りに報道されています。千葉県も外来生物のデパートと揶揄されるように在来の動物の他にも、様々な外来動物が増殖傾向にあり、問題視されています。被害を出している主な動物はイノシシ、シカ、ハクビシ、アライクマ、キョンなどですが、都市部をはじめとして、千葉県内で被害の出ない地域はありません。

農林水産省、環境省もこれら野生鳥獣の被害

に対し、全国で行政、農業者、ハンター(狩猟者)などの協力を得て被害防止活動に取り組んでいます。しかし、農業者やハンターなど現場で活動に取り組む者の高齢化・減少が課題となっています。

そこで、現役時代は体力もあり、山野を歩くことも苦にならなかった皆様であれば、お住まいの地域に貢献できるのではないのでしょうか。

私は、職業として県内をはじめ、日本中で狩猟捕獲・研究を行っています。狩猟免許取得のアドバイスをしますので、やって見ようと思われ方は、ご連絡下さい。

猟銃とまではいかないまでも費用や手間のあまりかからない、わな猟の免許から始めてもよいかと思います。免許を所持していれば、各市町村で有害鳥獣駆除や農家の被害対策でわなを借りることのできる地域もあります。金額はそれぞれ違いますが、わずかながら報奨金も出ます。人数がまとまれば県の自然保護課から、別枠で講習など開いてもらえるかも知れません。

形は違いますが、日本の国土を守るという意味で、有志の方々が活動できる日が来ましたら幸いです。※連絡先 〒285-0004 佐倉市岩名84-1電話090-3087-3819

【佐倉支部長 森田悦朗】

戦没者慰霊祭に参加

◆浦安市戦没者慰霊祭「みたま祭り」
7月15日(金)、浦安市において、浦安市遺族会が主催して、斎行。県から浦安支

部高谷会員が参列した。当日は午前より雨天

で天候が心配されたが、慰霊祭開始の16時には雨も止み、涼しい中での慰霊祭となった。式は松崎秀樹浦安市長をはじめ、多数の来賓が参列され、市内「清瀧神社」の神主の祭事により厳粛に行われた。「浦安詩吟の会」による、献吟奉納も実施され、同会の代表として県隊友会浦安支部会員の嶋田攻成氏(浦安市入船在住)も参加した。8月15日は同場所の清掃作業及び略式ながら慰霊が行われ、参加した。

◆我孫子市忠魂碑の拝礼(慰霊祭)
8月15日(月)、10時から市内の柴崎神社(宮司 湯下正博氏)においてご遺族、地元有志の他、東葛借行会、豊嶋我孫子支部長ら15名が集い斎行。式は、宮司の司会、進行で厳粛に行われ、その後、遺族会の方々が持ち寄られた料理、飲み物で歓談し遺徳を偲んだ。

◆松戸市慰霊祭
8月24日(水)、10時から松戸市忠魂碑(松戸市岩瀬 相模台公園内)前において、松戸市遺族会、松戸市社会福祉協議会及び東葛借行会が主催、本郷谷健次松戸市長、横川博成松戸駐屯地司令代理、山本松戸支部らが参列して斎行された。



松戸市慰霊祭 松戸駐屯地司令代理横川1陸佐献花



浦安市 みたま祭り